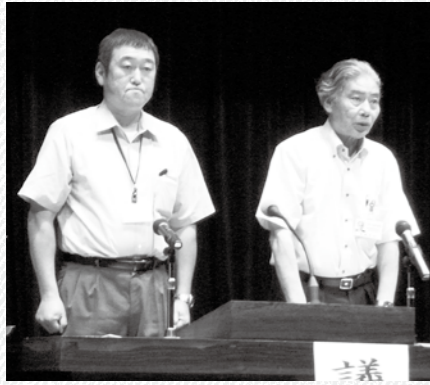


# 第55回岩手郡町村議会議員大会



議長団の鈴木議員（左）

大会は、佐藤会長（岩手町議会議員）のあいさつの後、大宮惇幸県議会議員ほかの来賓祝辞をいただきました。

次に議長団を選出し協議を行いました。

協議ではまず最初に議会人としての責務を認識し、加盟町村の相互協調のもとに課題実現のため、なお一層の努力を誓う宣言を行い、引き続き、郡内町村

## 大会

岩手郡町村議会議長会（佐藤弘吉会長）は、8月5日、雫石町の野菊ホールで、第55回岩手郡町村議会議員大会を開催しました。

## 共有する課題の実現めざせ

が抱える9項目の課題を慎重審議し満場一致で採択しました。

これら9項目については、国と県が積極的な措置を講ずるよう大会の総意を強く要望することに決定し、8月25日は県へ、10月15日には国へ要望活動を行っています。

要望内容は次のとおりです。

- 1 国道の拡幅改良整備の促進
  - 2 県道及び主要地方道の早期改良整備
  - 3 農業の振興対策の推進
  - 4 林業の振興対策の推進
  - 5 医療保険制度の改善
- ほか4項目

大会では、3、4の内容を高宮一明議員（輝くふるさと常任委員会委員長）が提案説明し、酪農・畜産の対策強化を訴えました。

- ① 配合飼料の価格安定対策強化
- ② 牛乳の販売価格値上げに対する消費者理解に向けた取り組み
- ③ 自給飼料増産のための基盤強化対策
- ④ 地球温暖化などの環境問題解決のための林業振興対策

## 請願の審査結果 輝くふるさと常任委員会 採択しました。

### 採択しました。

☆請願第2号  
介護職員の待遇改善について（意見書を提出）

輝くふるさと常任委員会は、閉会中の7月15日に町内4つの介護施設を視察調査しました。

また、職員の給与に関する調査も併せて実施し、6月定例会に提出された案件の継続調査活動を行いました。



施設の現状を調査

## 継続審査としました。

☆請願第4号  
教育予算の拡充、教職員定数の改善を求める請願について

☆請願第5号  
義務教育費国庫負担制度堅持及び負担割合2分の1復元を求める請願について

請願者 4号5号共に  
岩手県教職員組合  
岩手支部  
支部長 野田敏明

## 委員会発議による意見書

要約してお知らせします。

**介護保険制度を安定的に維持・発展していくため、介護報酬の増額改定を求める意見書**

介護を担う職員の給与水準は、他の産業と比較して低い水準にあり、「いくら好きな仕事でも将来が不安」と、介護の仕事をやめる人が増えている。

こうしたことから、介護報酬の増額改定や介護職員等の生活を保障できる給与体系の確立などの待遇改善が必要である。

〈要望先〉内閣総理大臣、厚生労働大臣ほか

## 原油高騰への総合的な対策を求める意見書

輸入大国である日本国内の物価は、世界経済の変化と大きな関わりを持ち、昨年から続く原油価格の高騰は、石油製品だけでなく穀物、肥料、飼料、食料から工業製品に至るまで、国内産業のあらゆる方面に影響が及んでいる。国民の暮らしはもとより、地域経済を直撃し、日本経済にとって重大な問題となっている。

こうしたことから、国会及び政府が、投機マネーへの規制など、国際原油市場安定化への働きかけを強化するとともに、国内産業を守るためのきめ細かな業種別対策と国民の暮らしを守るために迅速かつ総合的な対策（支援）を講ずることが必要である。

〈要望先〉内閣総理大臣、経済産業大臣ほか

## 新たな過疎対策法の制定に関する意見書

過疎対策については、昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、3次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策が推進され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げてきたところである。このような状況の中で、平成12年に施行された現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は、平成21年度末をもって期限切れを迎えるが、その後、新たな過疎対策が講じられなければ、過疎の市町村は様々な課題に取り組みことが極めて困難となる。

よって、国においては、こうした実情を踏まえ、失効する同法にかわる新たな過疎対策法を制定し、過疎地域に対する総合的な対策が引き続き必要である。

〈要望先〉内閣総理大臣、総務大臣ほか

## 地域文化を見直そう ジャパンは漆文化です

大会終了後、「地域文化の大事さ」と題した岩山漆芸美術館館長 全龍福（チヨンヨンボク）氏の基調講演がありました。

全氏は1952年韓国釜山生まれで漆を研究し、1986年現代美術大賞展大賞受賞、興味のあった日本の漆を勉強するため輪島塗や津軽塗など日本国中を歩き回ったそうです。



漆文化を熱く語る全氏

その研究の成果で東京にある目黒雅叙園の漆芸品5千点の修復・制作の依頼を受け、岩手県川井村の廃校を利用し、3年間生活をしながらです。韓国の大都市で育った全氏は、新幹線で駅から降りた盛岡が川井村だと思ったそうです。

修復を成し遂げた全氏は岩山漆芸美術館を開館し世界最大の漆芸パネル「岩手の魂」を発表。また、今年は時計製造メーカーのセイコー社と協同で漆芸で貝や金で装飾された腕時計「展雅」

を世界に発表しました。

中尊寺金色堂をイメージした荘厳で優美な作品は、金属と漆の持つ持っている特性が調和し、日本が世界に誇る時計に仕上がっている。一個5250万円の値段とお聞きしました。

全氏が一番、私たちに伝えたかったことは、世界から見たとき日本の文化は漆、日本人はその良さが解っていない。世界では、「ジャパンはうるし」歴史や文化を大事に受け継いで欲しいと言ったことでした。

私たちが日ごろ忘れかけている文化の良さが全氏の言葉を通して心に響きました。漆文化に限らず、地域の文化を大切に守り伝える努力が必要な時代だと感じました。